

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	デザート・タンク	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.570	△RG	0.015	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：DESERT TANK**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

**比較対照ボール：TANK BLITZ**

フレアーの幅  インチ

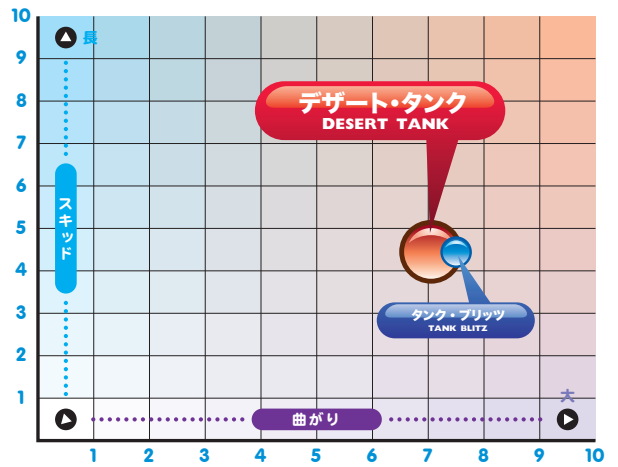
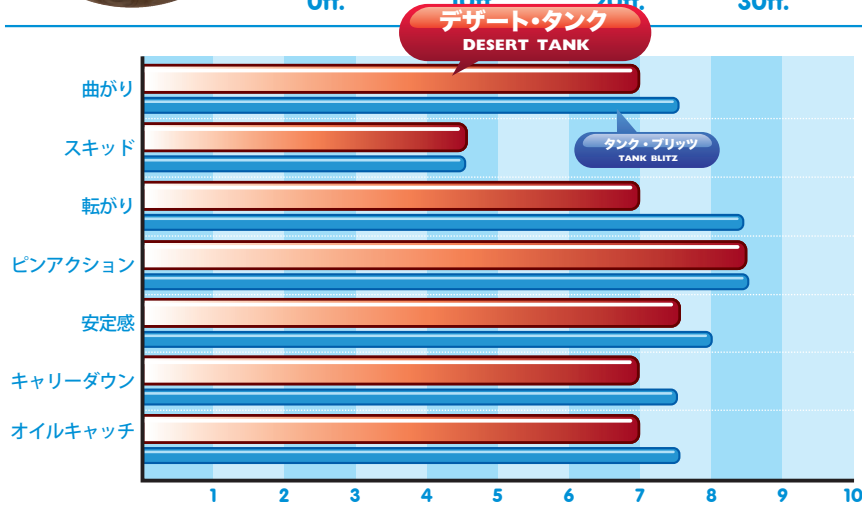
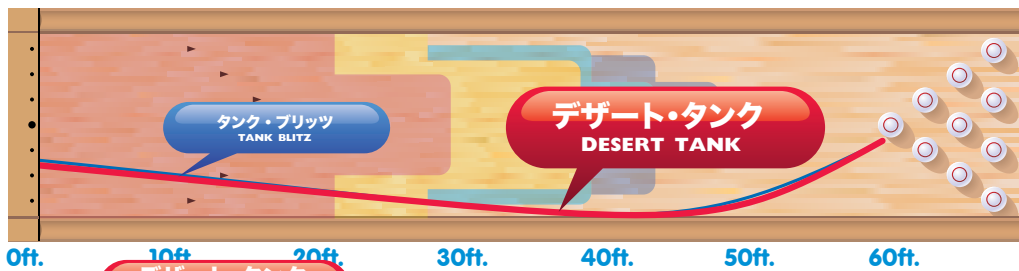
PAPからピンとの距離  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



### ボールの評価

MOTIV社のMicrocell Polymerはウレタン素材でもなくリアクティブ素材でもない、現代様々なコンディションが各大会で採用される中、ウレタン素材の性質を持ちながらリアクティブの反応性を持つ性能がだせる新たな可能性として、COVERT TANKで発売されました。その後コア形状を変更させTANK BLITZが発売になり今回新たな領域を目指してDESERT TANKが発売されます。注目すべきはMicrocell PolymerにPearl素材が混入され、Frixion+ Pearl Microcell Polymerとして打ち出してきたところでしょう。COVERT TANKよりスムーズな動きを実現するために慣性が高く、低い△RGのTHRILLで使用されているFluxコアに変更され、トラックフレアーがかなり抑えられています。

TANK BLITZとの比較投球では、開発コンセプトにもあるMicrocell PolymerとPearl Microcell Polymerの差はスキッドにも反映され、直進力はPearl Microcell Polymerが長く感じるのは従来のカバーの属性と変わりはないようです。TANK BLITZのGearコアとDESERT TANKのFluxコアとでコアの数値が異なり、高RG・低△RGのDESERT TANKは数値が表すように曲がりのイメージが奥に移行しているのもコンセプト通りだと思います。今回DESERT TANKとTANK BLITZの両者はボウラーの曲がりのイメージにどちらが合うかという部分があると思います。普段からウレタンを使い慣れている方は曲がりやや早めにするTANK BLITZのほうがイメージでき、ウレタンを使い慣れていない方はリアクティブのような奥で特徴がでるDESERT TANKのほうがイメージしやすいのではないかと思います。Pearl素材が添加されたことでバックエンドの動きにもコアも踏まえてリアクションが変わっていますので、従来のウレタンの使い方からというイメージよりは、従来のウレタンでイメージがわからなかったかたはDESERT TANKの魅力が大きく感じられるのではないかと思います。

### 特記事項

**PearlのMicrocell Polymerで慣性の高いコア。従来のウレタン設定とは違う用途で投球できるボールと言えます。従来のウレタンでイメージが今一つという方は、ぜひ試して頂きたいボールです。**